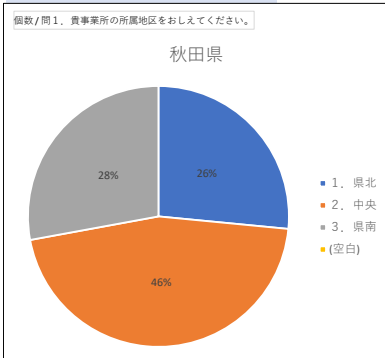


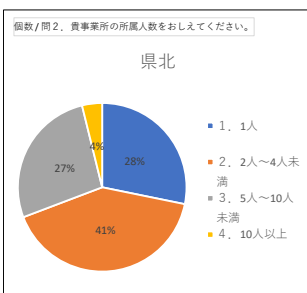
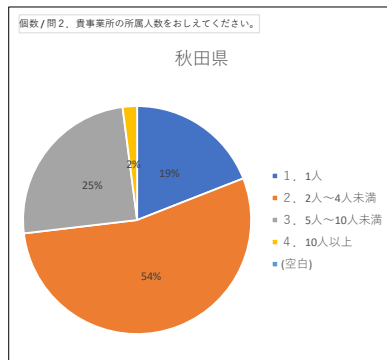
409件送付 回答294 71%回収 誤

行ラベル	個数 / 問1、貴事業所の所属地区をおしえてください。
1. 県北	78
2. 中央	134
3. 県南	82
(空白)	
総計	294

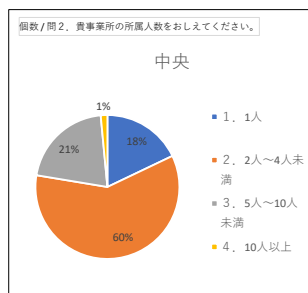


平成30年4月現在 県北回収率77% 中央回収率64% 県南回収率82%
 居宅件数 県北101件 中央209件 県南100件

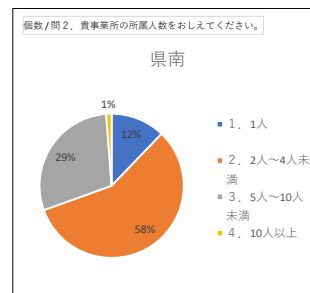
行ラベル	個数 / 問2、貴事業所の所属人数をおしえてください。
1. 1人	56
2. 2人～4人未満	159
3. 5人～10人未満	73
4. 10人以上	6
(空白)	
総計	294



1. 1人	22
2. 2人～4人未満	32
3. 5人～10人未満	21
4. 10人以上	3
総計	78

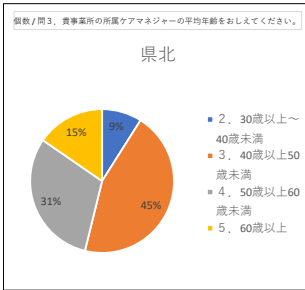
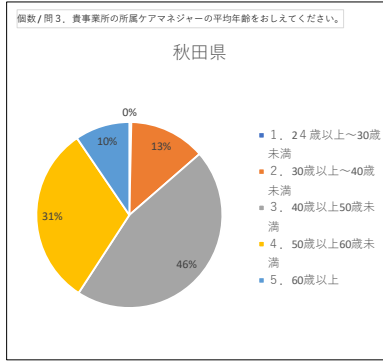


1. 1人	24
2. 2人～4人未満	80
3. 5人～10人未満	28
4. 10人以上	2
総計	134

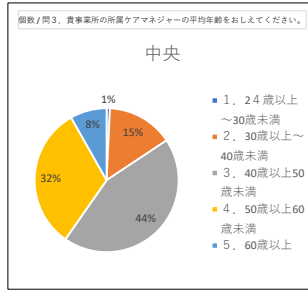


1. 1人	10
2. 2人～4人未満	47
3. 5人～10人未満	24
4. 10人以上	1
総計	82

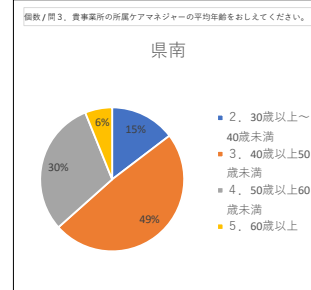
行ラベル	個数 / 問3、貴事業所の所属ケアマネジャーの平均年齢をおしえてください。
1. 24歳以上～30	1
2. 30歳以上～40	39
3. 40歳以上50歳	134
4. 50歳以上60歳	92
5. 60歳以上	28
総計	294



2. 30歳以上～40	7
3. 40歳以上50歳	35
4. 50歳以上60歳	24
5. 60歳以上	12
総計	78

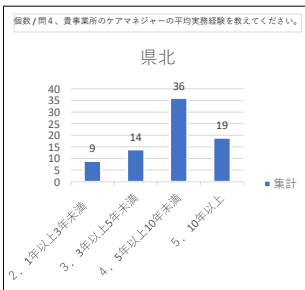
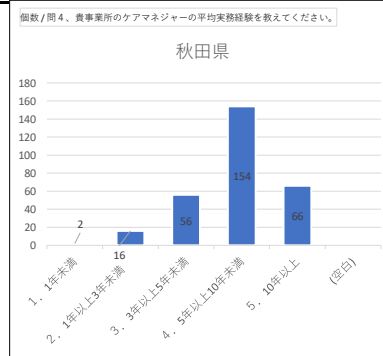


1. 24歳以上～30	1
2. 30歳以上～40	20
3. 40歳以上50歳	59
4. 50歳以上60歳	43
5. 60歳以上	11
総計	134

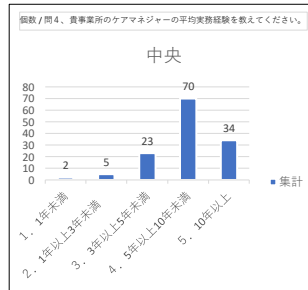


2. 30歳以上～40	12
3. 40歳以上50歳	40
4. 50歳以上60歳	25
5. 60歳以上	5
総計	82

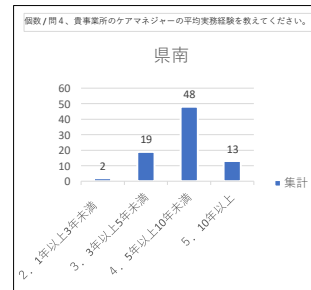
行ラベル	個数 / 問4、貴事業所のケアマネジャーの平均実務経験を教えてください。
1. 1年未満	2
2. 1年以上3年未	16
3. 3年以上5年未	56
4. 5年以上10年未	154
5. 10年以上	66
(空白)	
総計	294



2. 1年以上3年未	9
3. 3年以上5年未	14
4. 5年以上10年未	36
5. 10年以上	19
総計	78

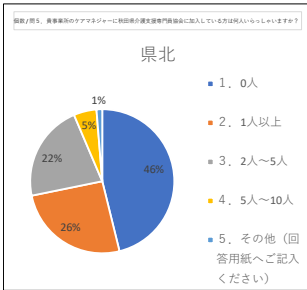
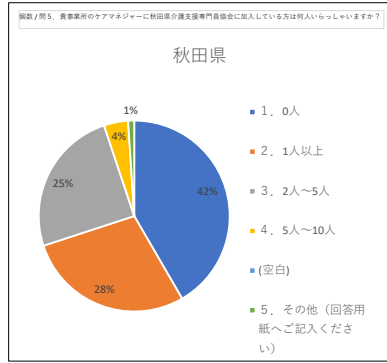


1. 1年未満	2
2. 1年以上3年未	5
3. 3年以上5年未	23
4. 5年以上10年未	70
5. 10年以上	34
総計	134

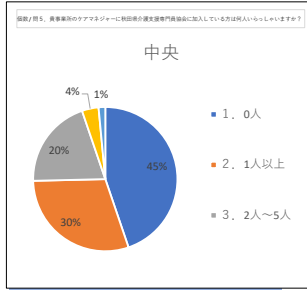


2. 1年以上3年未	2
3. 3年以上5年未	19
4. 5年以上10年未	48
5. 10年以上	13
総計	82

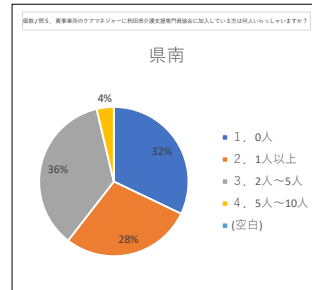
行ラベル	個数 / 問5. 貴事業所のケアマネジャーに秋田県介護支援専門員協会に加入している方は何人いらっしゃいますか?
1. 0人	122
2. 1人以上	83
3. 2人～5人	73
4. 5人～10人	12
(空白)	
5. その他 (回答)	3
総計	293



1. 0人	36
2. 1人以上	20
3. 2人～5人	17
4. 5人～10人	4
5. その他 (回答)	1
総計	78

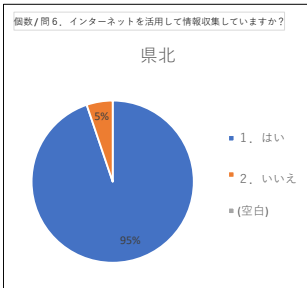
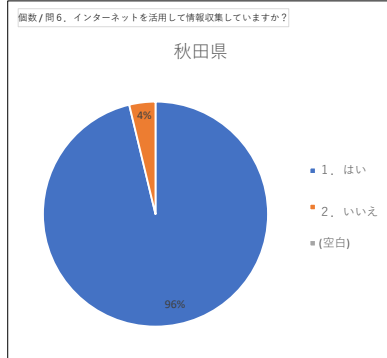


1. 0人	60
2. 1人以上	40
3. 2人～5人	27
4. 5人～10人	5
5. その他 (回答)	2
総計	134

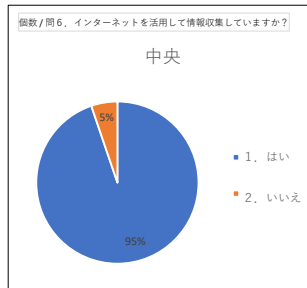


1. 0人	26
2. 1人以上	23
3. 2人～5人	29
4. 5人～10人	3
(空白)	
総計	81

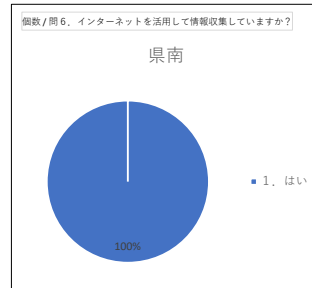
行ラベル	個数 / 問6. インターネットを活用して情報収集していますか?
1. はい	282
2. いいえ	11
(空白)	
総計	293



1. はい	73
2. いいえ	4
(空白)	
総計	77

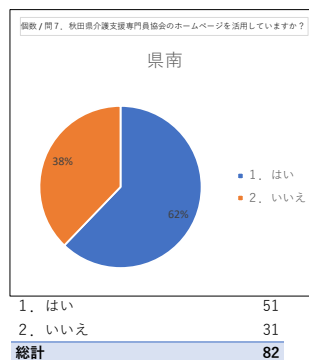
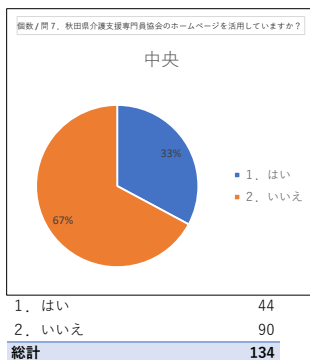
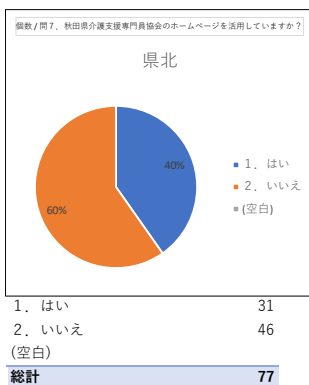
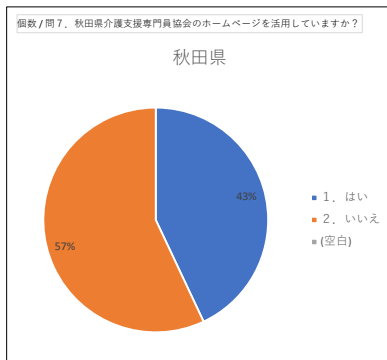


1. はい	127
2. いいえ	7
総計	134

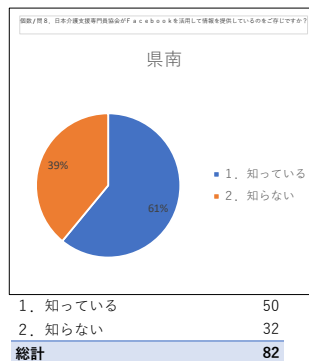
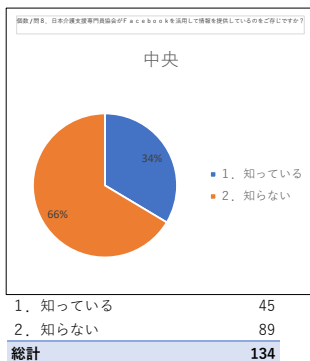
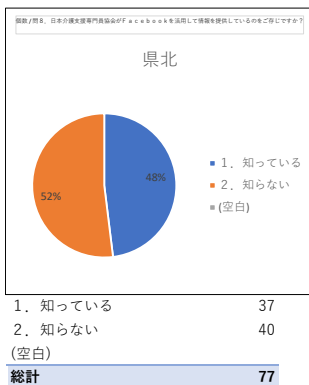
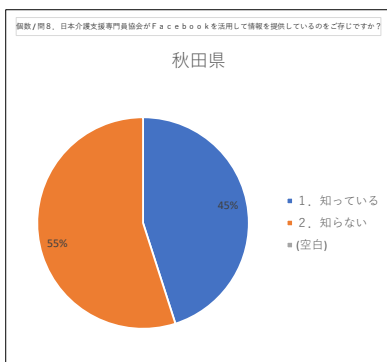


1. はい	82
総計	82

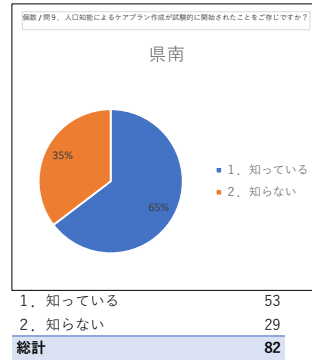
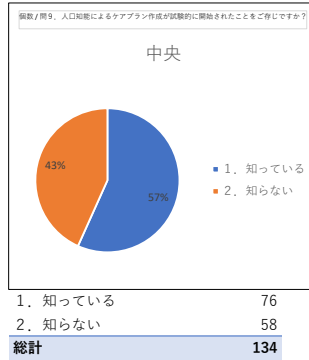
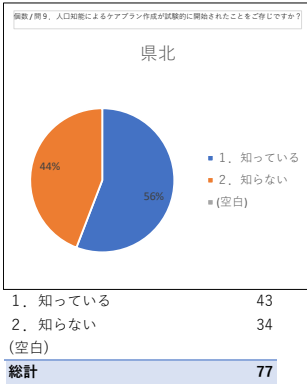
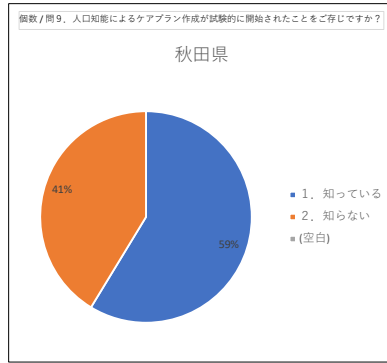
行ラベル	個数 / 問7. 秋田県介護支援専門員協会のホームページを活用していますか？
1. はい	126
2. いいえ	167
(空白)	
総計	293



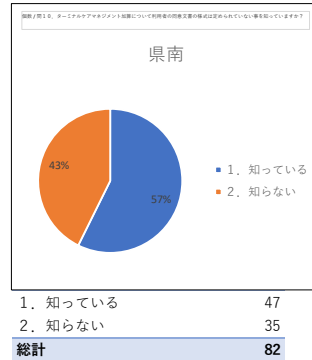
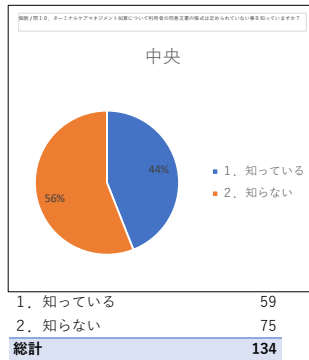
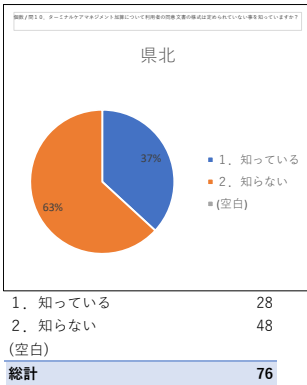
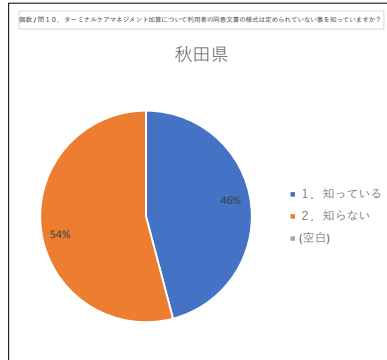
行ラベル	個数 / 問8. 日本介護支援専門員協会がFacebookを活用して情報を提供
1. 知っている	132
2. 知らない	161
(空白)	
総計	293



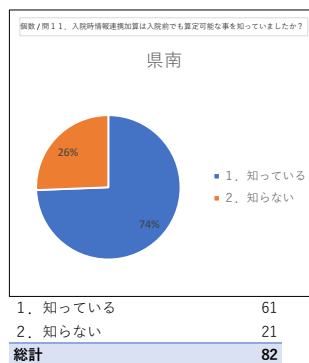
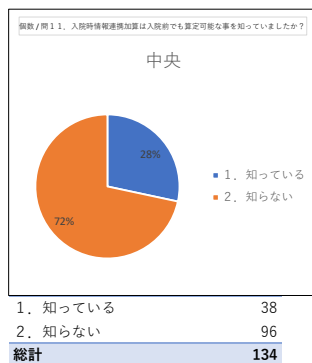
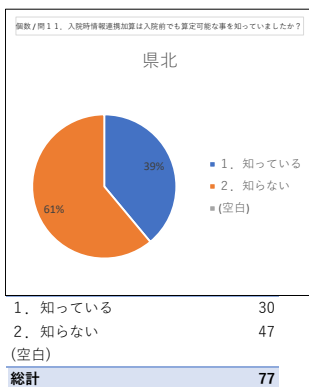
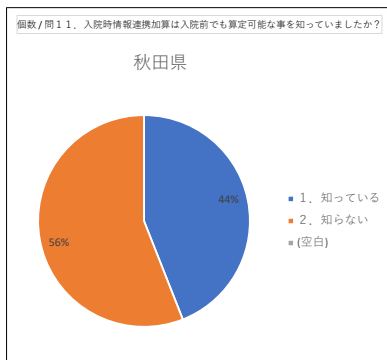
行ラベル	個数 / 問9、人口知能によるケアプラン作成が試験的に開始されたことをご存じですか?
1. 知っている	172
2. 知らない	121
(空白)	
総計	293



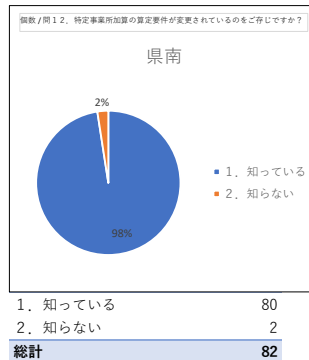
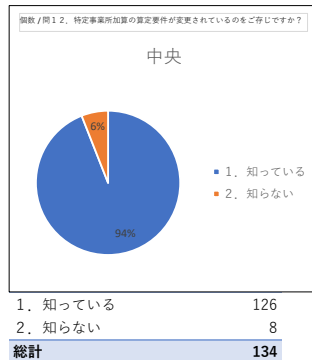
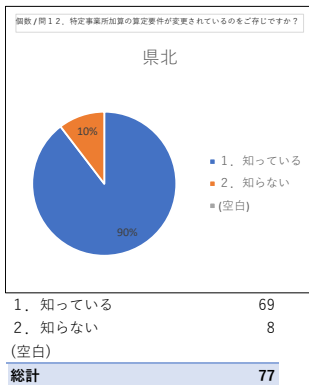
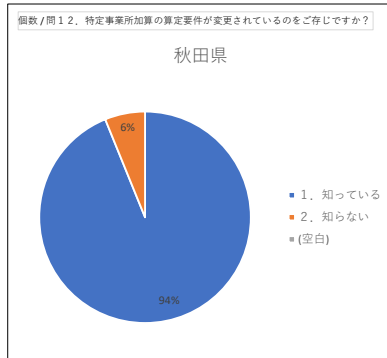
行ラベル	個数 / 問10、ターミナルケアマネジメント加算について利用者の同意文書の様式は定められていない事を知っていますか?
1. 知っている	134
2. 知らない	158
(空白)	
総計	292



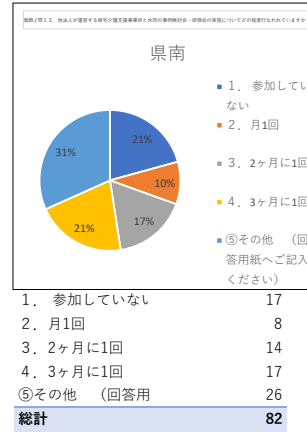
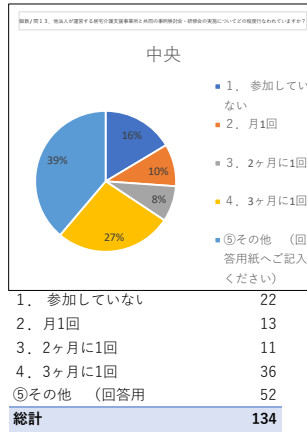
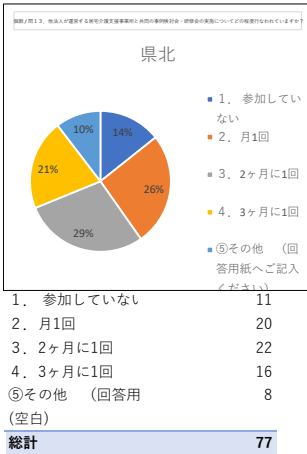
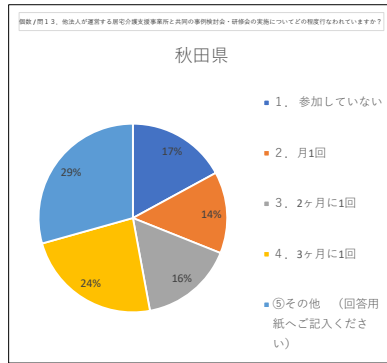
行ラベル	個数 / 問11. 入院情報連携加算は入院前でも算定可能な事を知っていましたか?
1. 知っている	129
2. 知らない	164
(空白)	
総計	293



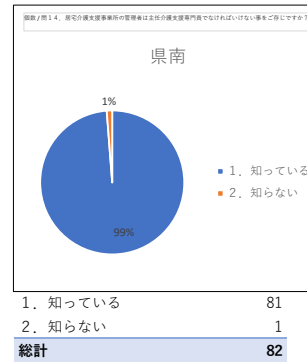
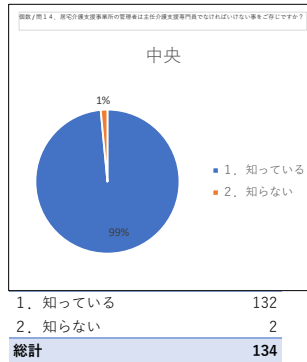
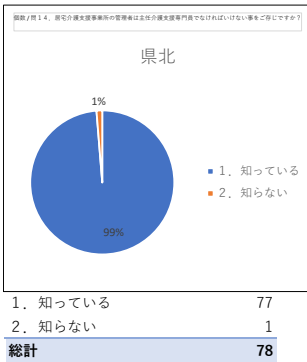
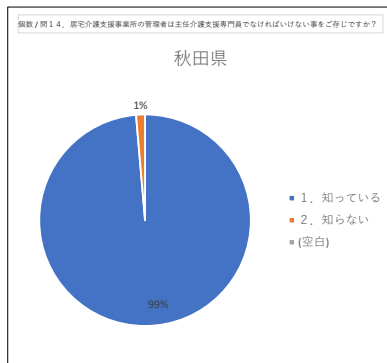
行ラベル	個数 / 問12. 特定事業所加算の算定要件が変更されているものをご存じですか?
1. 知っている	275
2. 知らない	18
(空白)	
総計	293



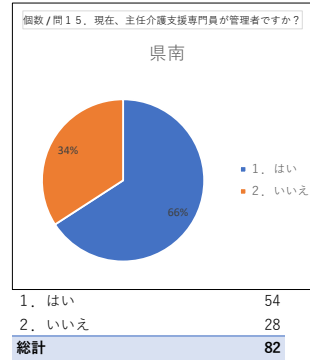
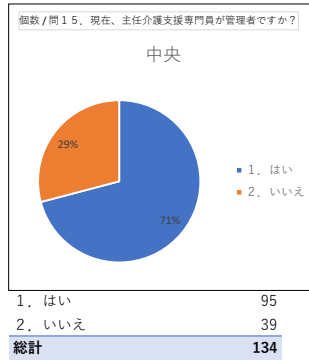
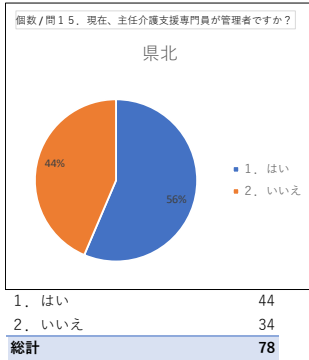
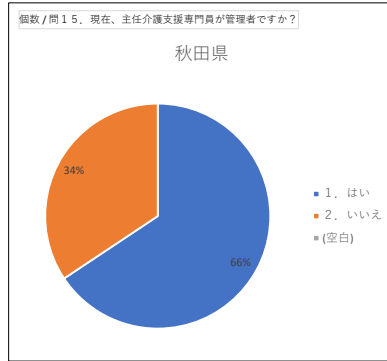
行ラベル	個数 / 問13. 他法人が運営する居宅介護支援事業所と共同の事例検討会・研修
1. 参加していない	50
2. 月1回	41
3. 2ヶ月に1回	47
4. 3ヶ月に1回	69
⑤その他 (回答用紙へご記入ください)	86
総計	293



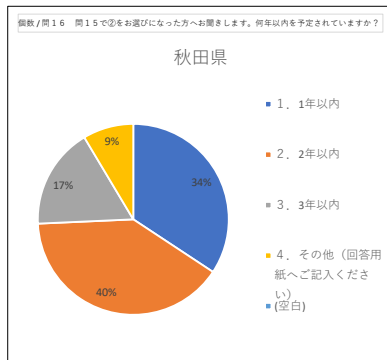
行ラベル	個数 / 問14. 居宅介護支援事業所の管理者は主任介護支援専門員でなければいけません
1. 知っている	290
2. 知らない	4
(空白)	
総計	294



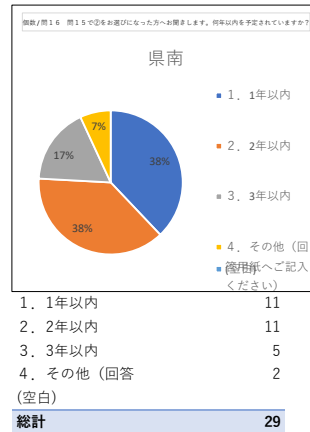
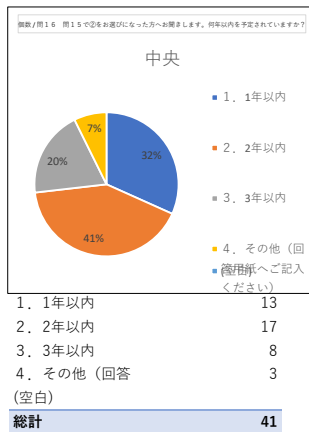
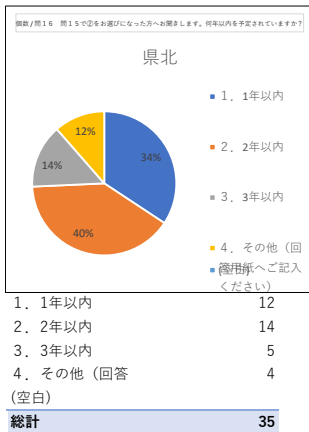
行ラベル	個数 / 問15、現在、主任介護支援専門員が管理者ですか？
1. はい	193
2. いいえ	101
(空白)	
総計	294



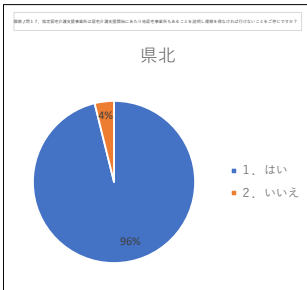
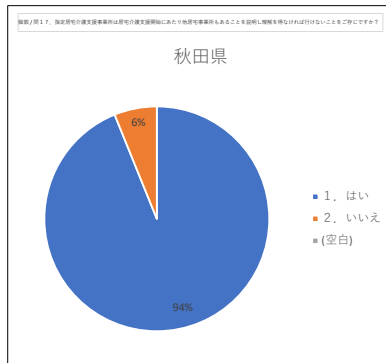
行ラベル	個数 / 問16 問15で2をお選びになった方へお聞きします。何年以内を予定されていますか？
1. 1年以内	36
2. 2年以内	42
3. 3年以内	18
4. その他 (回答用紙へご記入ください)	9
(空白)	
総計	105



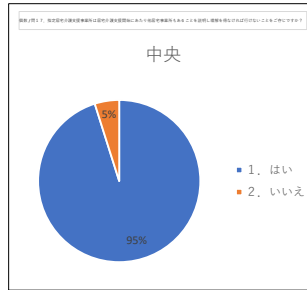
101事業所中大半は



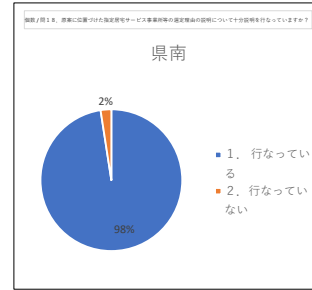
行ラベル	個数 / 問17. 指定居宅介護支援事業所は居宅介護支援開始にあたり他居宅事業
1. はい	276
2. いいえ	18
(空白)	
総計	294



1. はい	75
2. いいえ	3
総計	78

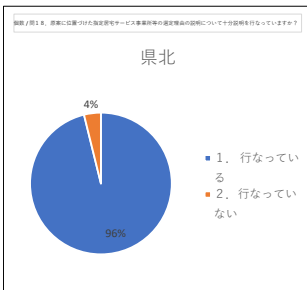
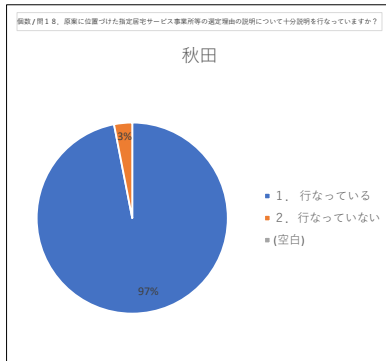


1. はい	78
2. いいえ	4
総計	82

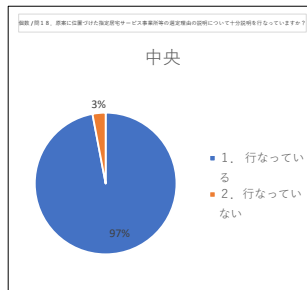


1. 行なっている	80
2. 行なっていない	2
総計	82

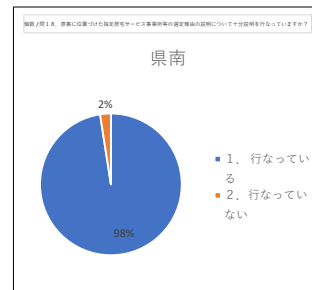
行ラベル	個数 / 問18. 原案に位置つけた指定居宅サービス事業所の選定理由の説明に
1. 行なっている	285
2. 行なっていない	9
(空白)	
総計	294



1. 行なっている	75
2. 行なっていない	3
総計	78

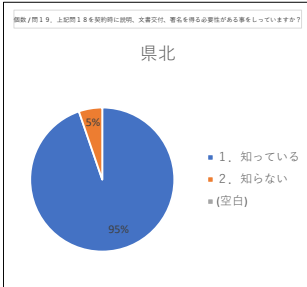
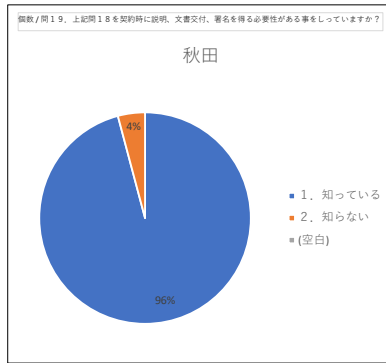


1. 行なっている	130
2. 行なっていない	4
総計	134

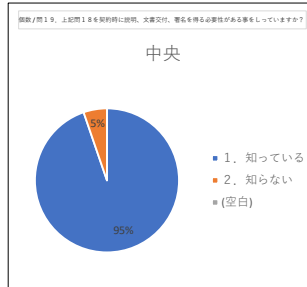


1. 行なっている	80
2. 行なっていない	2
総計	82

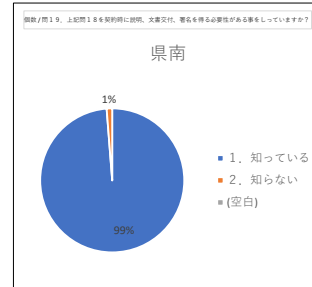
行ラベル	個数 / 問19、上記問18を契約時に説明、文書交付、署名を得る必要性がある
1. 知っている	278
2. 知らない (空白)	12
総計	290



1. 知っている	72
2. 知らない (空白)	4
総計	76

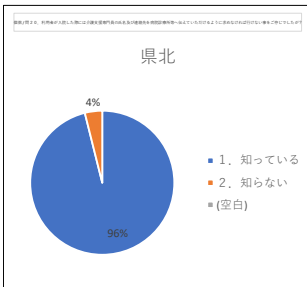
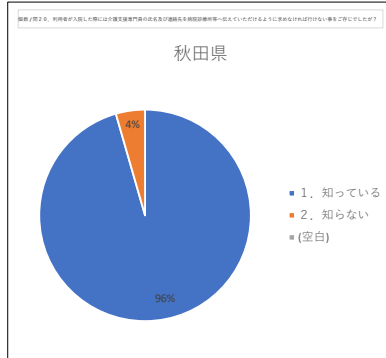


1. 知っている	126
2. 知らない (空白)	7
総計	133

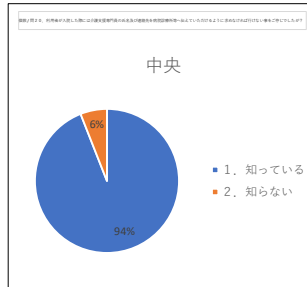


1. 知っている	80
2. 知らない (空白)	1
総計	81

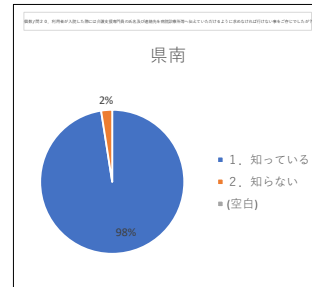
行ラベル	個数 / 問20、利用者が入院した際には介護支援専門員の氏名及び連絡先を病院
1. 知っている	279
2. 知らない (空白)	13
総計	292



1. 知っている	74
2. 知らない (空白)	3
総計	77

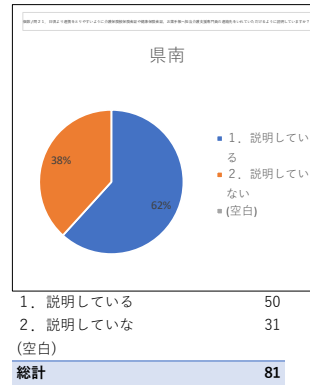
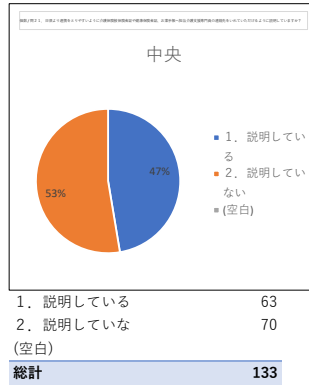
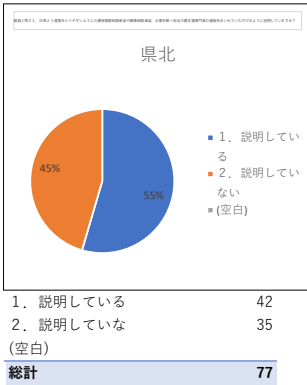
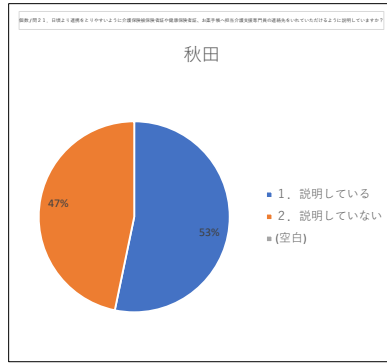


1. 知っている	126
2. 知らない (空白)	8
総計	134



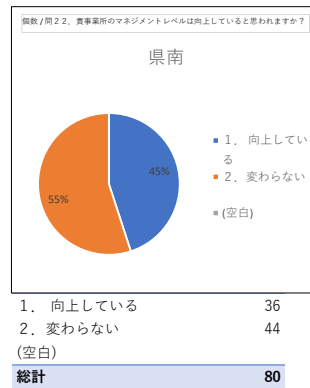
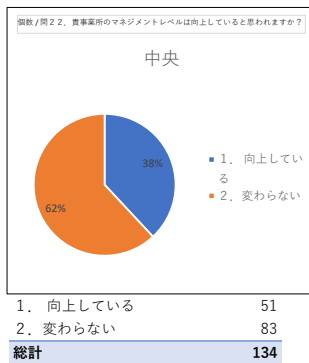
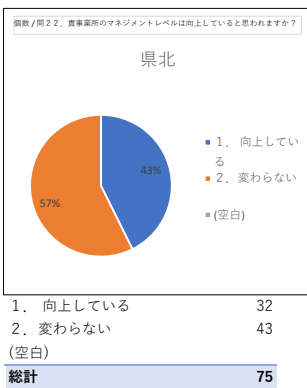
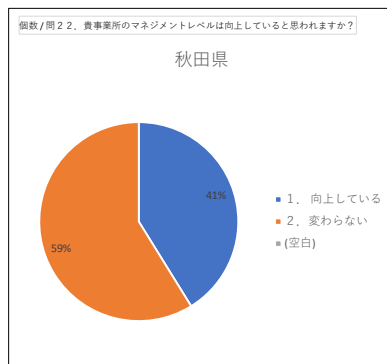
1. 知っている	79
2. 知らない (空白)	2
総計	81

行ラベル	個数 / 問2.1. 日頃より連携をとりやすいように介護保険被保険者証や健康保険
1. 説明している	155
2. 説明していない (空白)	136
総計	291



中央

行ラベル	個数 / 問2.2. 貴事業所のマネジメントレベルは向上していると思えますか?
1. 向上している	119
2. 変わらない (空白)	170
総計	289



回数 / 問23、問22で①
と答える方はその理由方
法を教えてください。(記述)

○週1回の会議、ケース検討や情報交換。研修会への参加。他法人と共同の事例検討、研修会等の実施。実の研修実習の受け入れ（教えることで改めて学ぶ機会をもつ）

○当法人が開設した当時よりも認知症利用者への対応としては全く違うと思う。認知症に対応できる病院も増えたがそれにより勉強した事も沢山あった。

○地域ケア会議の参加、事例検討会参加、後見人制度の研修。

○各研修や事例検討会に参加したり、書籍、インターネットの活用をしようとしている。①とは回答したが当初に比べての話であり、実際本当に向上しているのか自信はない。

○定期的に勉強会、スーパービジョンを行っている。

○利用者からクレーム等の対応に追われたことがないので今の所は対応できていると思っている。

○定期的に社内研修を実施しお社外研修にも参加し情報共有できている。

○利用者の状態をよく把握しサービスに繋げている入院時も医療と連携し病院のほうへ足を運んでいる。

○社内研修の実施により改定についての情報共有及び社内監査の実施、自己点検の実施を行っている。

○他職種との連携や各研修への参加による情報収集。他の居宅介護支援事業所との情報交換。

○指名での新規利用者が9月時点で前年比+13人となっている。

○スキルアップ目指した研修会参加・事業所内で毎週事例検討実施・困難事例の受け入れ等

○1人のケアマネは、資格取れたたてだったが、徐々に仕事に慣れてきて、利用者様（色々な）に対応ができるようになっていく。

○研修に積極的に参加している。内部でもケアマネ間でケース検討しており、レベルが少しずつ向上していると思う。

○ケアマネ個々のケアマネジメントに対する意識が変わってきている（良い方向に）

○他職種との連携の機会も増え、主任ケアマネも増員している。研修や会議への参加も数を重ねスキルアップへとつながっている。様々なケースを担当する経験から、アセスメント能力が向上してきている。

○定期会議や事例検討会議による職員間での情報共有やケアプランチェック、主任ケアマネージャーや先輩職員による指導など。

○事業所内の風通しが良く、随時相談、助言できる環境づくりに努めている。新しい情報は回覧や口頭で周知されている。業務に関わる時間短縮できているetc.

○今回の介護報酬改定もあり、医療との連携強化を意識して取り組んでおり、向上につながっている一つと考えている。

○事業所内での会議事例検討会を行っていることや外部での合同事例検討会、研修会参加等によりレベルは向上できていると思う。また経験年数が増すごとに、知識、技術が高くなっていくと思う。

○会議や毎週のカンファレンスで各ケースについて話し合う機会をつくり、意見を出し合うようにしている。新規ケースを中心にケアプランを皆でみている。

○一人ケアマネである為、情報不足、他事業所との連携不足にならない様他事業所のケアマネと集り、事例研修、情報交換、又地域セブケア会等親睦に積極的参加するよう心がけております。また個人的には趣味やレクリエーション等でリフレッシュするよう心がけております。

○訪問看護を兼務しているため、特に医療依存度の高い方やホスピスケアについての研修も参加しているため病院や各サービスとの連携がとてうまく行われているから。

○複数担当にして利用者全員の状況をスタッフ全員が把握できるようにしています。その分困難や不安をかかえこまず、共有、解決につながっています。個人の知識や情報を、事業所の知識や情報とすることでマネジメントレベルアップになっています。

○法定の情報確認しながら事業所で話し合いケース検討など週1回は行っている。

○研修会や事例検討会への終了後、自分達事業所で振り返りの勉強会を開催しないよう深めている。

○医療連携へ他職種連携の研修会に参加する機会が大幅に増加し意識も高まってきている。医療関係者（リハ、Ns、薬剤師）からの積極的なアプローチも感じられ、それに対応していかなければならないと実感している。

○厚労省推進のアセスメントシートへの変更。定期的に開催される各種研修への参加。ケア協会からの情報収集後内部研修での共有。困難とされるケースへの会議参加

○経験の長いケアマネが新人ケアマネに適切に指導を行っている。経験の長いケアマネ自身もマンリ化にならないことを気にしながら、資質向上を図り、実際向上している。適宣、外部研修、内部研修に取り組んでいる。

○会社内の研修1回/月、市連絡会、包括圏域内研修参加により情報収集している。不安な時は都度解決の方向でマネジメントするよう心がけています。

事業所内研修、事業所外研修への積極的参加やSNSを利用した情報収集。

○各種研修へ参加し、学んだことを実践に結びつけている。今後も人間性に富んだマネジメントを身につけたい。

○スーパービジョンを定期開催し、CM自身の振り返りを行っている。・主任CMを3人中2人が取得し意識が変わってきている。困難事例に対しても利用者さんを理解しようと努め、その背景をアセスメントして、感情に左右されない支援ができるように指導している。・CM個々の得手不得手を自覚できるように、気付きを促している。

○各種研修、地域連携のカンファレンスに積極的に参加し、それを事業所内で勉強会したりしている。又、新人ケアマネに対して育成計画を作成し、その都度のアドバイスと一緒に同行する等している。5人それぞれのケアマネが協力している姿がある。

○ストレスを抱え込まないように、役割分担や目標に向けてチームワークで取り組んでいけるよう心がけている。

○利用者件数が増加しており、行政の困難ケースも断らずに担当しているため、連携機関や担当者等、幅を広げ出来ているため。

○組織チームの運営を考える時、何か一つにとらわれてしまうと正しい判断ができません。大局的な分析力と判断力が必要です。個の専門性の高い能力を発揮する（させる）ことができていると思う。

○大きく向上とまでは行かないかもしれないが、医療との関わりは良くなっていると思われる。

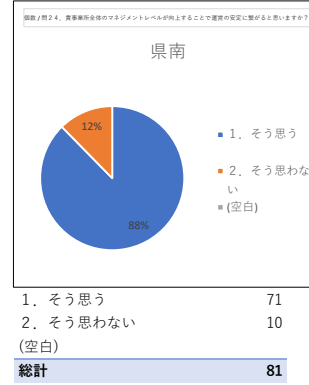
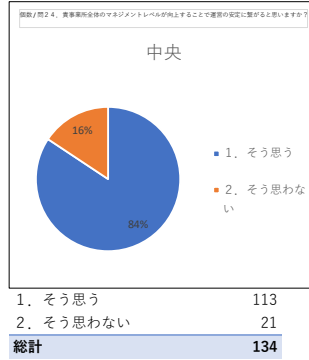
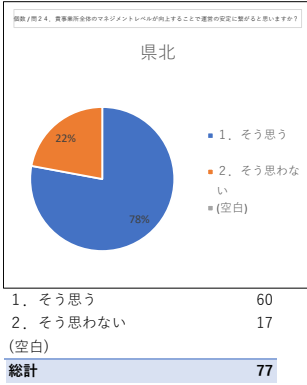
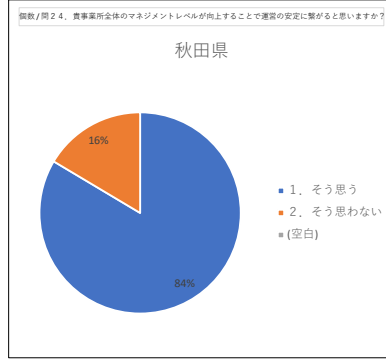
○ひとりケアマネなので、目の前で起きたことを対応するにあたり相談相手がいない。事例検討会には参加しているがレベルの向上には時間がかかる。

○利用者本位の理念について、経験が浅いと家族の意向に流されがちであるが、利用者の意向を尊重する形のマネジメントが行えるようになってきている。月1回行っている事業所内での事例検討会での助言でも、利用者本位の視点からのことが多くみられる。

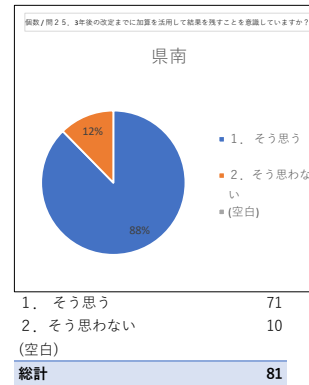
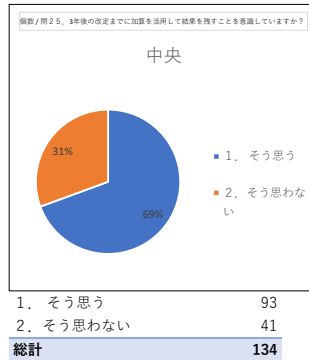
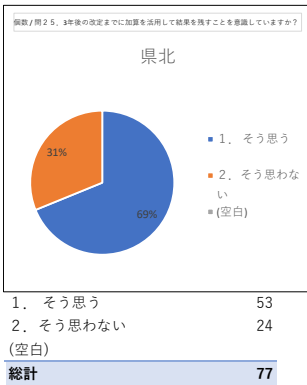
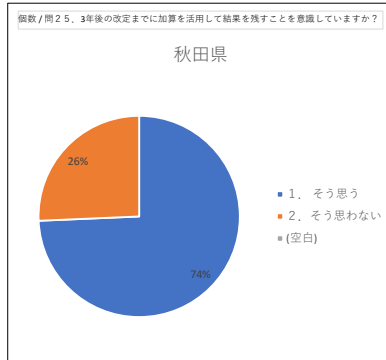
○事業所内で介護支援専門員が主任介護支援専門員に相談しやすい雰囲気作りができるようになっていく。又困難ケース等への対応についても、課題のとらえ方や他機関への相談や協力依頼の方法等助言し、今まで行ってきかなかったケアマネジメントの仕方についても学ぶ機会が設けられている。

○当事業所はケアマネージャーの人数が少ない環境ですが、定期的に自己評価やケアプラン点検を行っています。医療職と福祉職の資格を有しているの、お互いに助言しているの、気づきも増えていると思います。又、多職種との連携や研修会への参加で得てきた事は実践するよう心掛けています。

行ラベル	個数 / 問2.4、貴事業所全体のマネジメントレベルが向上することでの運営の安定
1. そう思う	244
2. そう思わない	48
(空白)	
総計	292



行ラベル	個数 / 問2.5、3年後の改定までに加算を活用して結果を残すことを意識していますか？
1. そう思う	217
2. そう思わない	75
(空白)	
総計	292



回数 / 問26、日本介護支援専門員協会に望むことや
秋田県介護支援専門員協会に望むことがあればご意見を
おきかせください

行ラベル

○様々な利用者への対応でマネジメントレベルが向上し指名を受ける事も多いが、かと云って経営の安定にはつながらずと常々思っている。ボランティアの気持ちがあれば継続はむずかしい。

○利用者がまず地域包括センターに相談に行くが、なかなか紹介してもらえず困っています。どの事業所に何件紹介しているのか明確にしてほしい、透明感のある状態にして欲しいです。

○災害時の対応や連携について、事業所レベルだけではなく県や市でどの様に動いていくのか分かる流れを作してほしい。1人ケアマネ事業所が孤立してしまわない様な対策を考えてほしいと思っている。

○特定事業所集中減算が今回の改訂で廃止とならなかったのが残念でした。事業所選択の際、こちらとしては当然提案は複数行いますが、あくまでも決定するのは利用者及び家族ですので、その結果により居宅事業所が減算となるのは納得いきませんし、そこを気にして事業所を提案しなければならないとすれば、利用者の利益にならないと思います。

○1人事業所で、かかえる利用者の人数が増えた時、まわりきれない時がある。減算だけの区分けでなくしっかり1人のケアマネに対して何人までと制限してほしい。マネジメント向上のためには必要なことだと思う。事業所の管理者は○人まで以下のケアマネは○人までにした方が各事業所のケアマネの人数でこの事業所の利用者の人数は○人と把握しやすいことあると思う。

○書類が多すぎる、簡略化してほしい。

○一人ケアマネですが事業所の運営的なものも指導してほしい。

○現在当協会が日本協会副会長であり、気持的に地域格差を感じることなく情報を得ている実感があります。

○平素より介護保険についての情報提供ありがとうございます。今後も提供された情報を活用させていただきながら業務にあたって参りたいと思います。

○今年度より協会へ入会させて頂いてる者ですが、研修会も勉強になる事も多くありがとうございます。

○介護支援専門員として1年くらいです。あたり前のコミュニケーションがとれればできる仕事だと思っております。そのコミュニケーションがとれない方が多すぎるのでは？時代の流れを感じ、情報の取得ができない方を導くことができない介護支援専門員が多い。主任ケアマネをとってもそれで解決は出来ない。研修を受講してもそれでも解決は出来ない。日々責任を感じながら自分の弱点を理解して自己研鑽にはげむ事でしか解決できないと思っています。

○何か変更等がある場合は研修や講演等で説明してほしい。

○「ケアマネなんでも相談」のようなサービスがあればたすかるのですが。

○貴協会主催の研修に時々参加させていただき大へん役立っております。

○他職種連携や利用者との関係を深めることで、今まで以上にケアマネが何でも屋となっており、調整するための窓口でなく、業務外の事まで求められるようになっている。利用者だけでなく医療、行政、居宅サービス事業者と何かあれば直ぐにケアマネにして貰おうとなっているように感じる。ケアマネの向上はもちろんであるが、他職種の方にもケアマネの業務内容を理解していただく必要があるのではないかとされる。業務外に時間がとられる事が質の向上に結びついていかないこともあるのではないのでしょうか。

○定期的な勉強会や報酬改定時の説明会を開催してほしい。

○活動御苦労様です。今後ともよろしくお願いします。

○ケアマネはなぜ処遇改善しないのか？モチベーションを保つ事に苦労しています。以前はケアマネ協に入っていました。年会費を支払い継続していく余裕がないです。ケアマネの賃上げをお願いしたい。

○1人の居宅で営業はしておりません。お客様の口コミで契約頂いております。居宅は事業所併設が便利です。最近は小規模多機能が多く建設されニーズも複雑になってきました。接近困難事例だけではなく成功例も聞きたいです。

○ターミナルケアマネジメント加算の要件の幅が非常に狭く、なかなか概算する方がいない現状です。3年後の改定に向けて算定できればと思っています。

○報酬改正や制度改正に意見をあげてほしい。書類を少なくすること（国への要望を伝える）や加算の概要などの公表（HPなど）をしてほしい。支部の学習会は会員外も参加できるのでいいです。入院前に加算がとれるのですか？

○施設紹介や介護相談等、介護サービス利用しなければ実績につながらないケースが多くある。地域によっては利用者宅訪問するために片道30分以上要することも有る。数字だけではなく実際業務しているケアマネの声を聞き、必要機関へ発信してほしい。

○研修を受けていれば資格が継続していくと思いますが、個々のレベルの差が大きくなっていると感じます。

○管理者同士の勉強会や情報交換ができる場があれば、制度認識の再確認や技術の平均化レベルアップにつながると思います。

○Facebookでの情報提供は初めて聞いたので活用したいと思います。

○研修会等の開催が必ず秋田市なので参加できないことが多くて残念です。年1回でも各地区（地方？）開催していただけたらとともに参加できる機会があるように思われます。

○介護保険料の負担割合が高く、安価にできるようにケアマネ協会からも働きかけてほしい。②在宅、在宅という地方では24Hの支援は難しい。地域感も考えてほしい。

○法改正前の研修会を開催してほしい。

○AIを使つてのプラン作成について、果して適切なケアにつながるのか疑問です。

○介護支援専門員協会の年会費を下げていただければ、協会に入会して色々な講習に出られて勉強できると思います。

○着実にNPO法人としての役割に向かっていると望みます。

○書類や記録、研修前の課題、実習受け入れ時の課題、書類提出物など。とにかく記録や提出物が多すぎると感じます。他の専門職はここまでありません。「質の高いマネジメント」のためではあると思いますが、このままではケアマネが潰れてしまうのではないかと危惧しております。あまりいっぱいいただくとパナアウトにならないのでしょうか。

○介護支援専門員の業務が複雑、多岐に渡り、新しく資格取得した方やプランの空いた方なんか携わりにくい状況になってきている感じがしますし、いくらかサービスとは言え、利用者等の関わりについても広範囲になってきているように思えます。どこかできちんと業務内容や範囲を整理していかないと、なり手が減少して行くような気がします。

○国の動きや、様々な研修を、お知らせいただき、助かっています。

○改定された内容等の理解不足、誤った解釈等あると思われるので、今後も研修の場を持っていていただきたいと思います。

○1人ケアマネだと、法改正の時など情報を集めるのが困難なため研修会など、1人ケアマネ用に開催してほしい。

○これだけ重責をになう、CMIは国家資格でよいのではないかと。そのようになることを希望します。

○利用者の利益につながるように、訪問マッサージや障害者手帳の記載をしていただけるように、先生たちに働きかけていただきたい。

○制度の変化に柔軟に対応できるノウハウを知らせていただきたい。

○問-22で事業所のマネジメントレベルは向上しているか？とあるが度重なるルール変更への対応のせいで利用者との距離がちぢまるどころか遠くなっていると思うのは私だけでしょうか？本来利用者のための介護保険制度はずなのに・・・誰の為に変更になっているの？

○介護報酬の改定時に居宅介護支援事業所管理者向けの勉強会等を開催してほしい。

○行政との意見交換を積極的に行ってほしい。

○質の向上等の為に更新研修の時間は増えたが、現在の内容では質の向上が図れるとは思われない。（今年の更新研修に参加）①200名以上も一度に研修して、それぞれにどれだけ伝わるか疑問である。②研修参加者が②ただ更新の人③施設ケアマネ④居宅とばらばらのためグループワークが発展的なものにはならない。③講師も決められた内容をこなすだけで精一杯のようであり、伝えるまでには至っていない。ただ日本介護支援専門員協会が作成した本を読むだけでなく、相手に伝えるスキルも必要である。講師もスキルアップが必要であり、プレゼンが上手な民間力を活用した方がよい。※27年度までのほうがゆとりがあり充実していた。28年度からの研修内容で進めなければならないのであれば秋田県として研修の進め方等を再検討した方がよい。あれでは質の向上にならない。県協の担当者も事業をこなすだけで精一杯かもしれませんが・・・

○県南共通様式（施設入所申し込み）が大変役に立っています。・会費が高く、当事業所は個人負担であること。業務に余裕がないことなどから参加できないです。

○介護職員処遇改善があるように、介護支援専門員の待遇が改善されるよう、国に働きかけてもらいたい。

○居宅介護支援費が利用者/割負担にならないことを望みます。

○紙書類が膨大であり、書類作成におわれている。賃金が上がらず、新しい介護支援専門員が出てこない。新たに資格取得する人材が不毛。

○今般改訂された入院情報提供書の厚労省から出された書式が病院サイドからほとんど評判が悪い。読みにくいケアプランを添付されても目を通す時間がない。前のようにどのサービスを使っているか明記してくれた方が助かる。負担割合などは病院としては不要。ほていしい情報が2枚にある。情報が多すぎて把握しづらい・・・などなど。次回法改正には話し合っていたと思います。

○協会の研修会は大変わかり易く勉強になっています。今後も改定があった場合にはわかり易い研修会の開催を継続していただきたい。

○ケアマネ試験に実技試験の導入→国家資格にする予定はないか。②大館、秋田での研修が多いので代能（年1回はあります）での研修をもう少し増やして欲しい。

○いつも大切なことの研修会等開催していただいている。ありがたい。協会は3人入会していましたが脱会してしまいました。（諸事情のため）今後共研修の案内等、よろしく願いいたします。

○加算等に関する書類作成や研修が増え、通常業務に追われる日々が続いている。利用者の対応がおろそかにならないように注意しているが、心身ともに負担が大きい。もう少し書類や研修開催の削減をしてもらいたい。

○協会あってこそ、安心して業務に取り組みます。今後よろしく願い致します。

○問9にある人工知能によるケアプラン作成に、私も参加してみたかった。協会を通じてそういった「試験運用に手を上げることはできるのですか？

○市町村によってケアマネジメントや書類の作成、出し方が違うので統一してほしい。

○問25の質問にたいしては、地域的課題から厳しい取り組みと思われます。

○ケアマネジメントの資質向上のための研修会やいろんな情報が得られるように望みます。

○有意識な研修をして欲しい。

○介護保険制度の改定も大切なことですが、ケアマネに求められることも多くなり、業務内容が煩雑な割に、できないことが多いと感じています。ケアマネの質もあるとは思いますが、協会を通じてでも利用者のためにできる範囲や制度、質を向上させるための研修や講習の場を作っていたらいいと思います。

○介護支援専門員の更新研修（専門IIも含む）や主任ケアマネ研修をできるだけ平日に行わず、土日等を含んで行ってほしい。また、いつも中央地区で前述の研修が行われるが、できれば県南、県北などでも行ってほしい。この希望は秋田県社協に対する意見になると思いますが、秋田県CM協会からも訴えてほしいです。

○ケアマネージャーの業務は忙しい。・作成書類の多い事、毎日のファイリング、日程調整、訪問・・・・本来の業務である相談支援の中で難しいケースが2つ3つ、重なってしまうとケアマネージャーの精神的負担は相当きつものがある。・ケアマネージャーの最高収入額が決まっているため、3人程度の居宅では賞与を出すことも難しい状態にある。・特定事業所加算は最低限必要な加算であり、取得にあたり週1回の会議開催、会議録作成が義務とされているが本当に必要なことなのか、必要でない書類や業務は省くことができるように、国や関係機関に代弁してほしい。

○活動内容をもっと広く宣伝してほしい。

○小原会長から、今回の改定までの流れや厳しい現状を伺う研修に参加し意識も変わりました。それを機に協会に加入したのですが、今後も秋田が取り残されないよう、意識が変わる人が増えてほしいと思います。

○一度入会して退会したものです。研修等、あまり意味のない内容が多く、退会しております。ケアマネの社会的地位の低さや、権利のなさにつながっております。あまり将来性のない職種ではないか？と思わずにはいられません。

○ケアマネの業務が魅力ある職種になれるように尽力していただきたい。

○協会の研修等へ積極的に参加したいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

○ケアマネを取り巻く環境も厳しくなっておりますが、ケアマネ業務を日々こなしながら利用者様の支援を行っております。そういった状況を上にも届けてもらいたいです。私たちがケアマネとしてレベルアップに努めていきたいと考えております。研修の開催場所がより身近な場所になると参加しやすいと思います。何卒宜しくお願い致します。

○制度のことについて質問できる場所があるとありがたいです。・フェイスブックはやっていないので、ホームページの活用を今後もさせていただきます。研修への参加もさせていただきます。ありがとうございます。

○協会の運営、ご苦勞様です。今後よろしくお願致します。

○研修案内やさまざまな情報をいただきましてありがとうございます。今後共引き続き教えていただけます様お願いたします。

○望むことは・・・とにかく本来の仕事に集中したい。書類はどんどん増えて、やることも増えて、必要なこととはわかるが、それにしてもなんんだかな？と思うくらいいろんなことをやっている。更新研修が日数多くて業務に支障を来す。利用者さんのためのケアマネでありたい。

○以前は色々な活用等があったが、現段階では、協会より、多方面でのマネジメント向上のための研修等に意義があるように思われ、常に扶報収集勉強中である

○市立秋田総合病院に入院して介護保険の新規申請依頼を受けたケースです。本人は一人暮らしで退院時に主治医意見書のための調査用紙を受け取ったことを覚えておりませんでした。入院中に申請しているのに、主治医意見書のための調査用紙が必要でしょうか？本人の状態を把握している主治医や看護師が記入せず、退位後にケアマネが記入するやり方に違和感があります。協会から病院へ改善要求してください。

○協会内のみに限らず地域の介護、福祉や医療現場または行政等へ向けて情報発信して下さる機関としての機能を期待しています。今後ともよろしくお願いたします。

○ケアマネジメント自己負担にならないようにご尽力いただきたいと思います

○協会で開催する研修等に関して、いつもありがとうございます。現在問題とされている点について研修を受けられることで業務への参考ができ、助かっております。忙しいと思いますが事務局の方々今後ともよろしくお願いたします。

○いつもお世話になっております。記録書類をもっと簡潔にできないものか検討願います。（ペーパーレスとは異なる観点から）

○一人ケアマネの事業所ですが、経験年数が不足な為、3年以内の主任ケアマネ資格取得は困難な状況です。5年間の猶予期間を設定していただけるように要請を関係機関に強く働きかけてほしいと思います。（認定ケアマネ取得は業務を行いながらでは負担が大きくなりやすいではありません。）